

第78回入学式

本日、第78回入学式でした。158名の新入生を迎え、新たな附属中学校がスタートします。入学式での「校長式辞」「生徒代表歓迎の言葉」を抜粋して紹介します。「新入生代表誓いの言葉」は、後日紹介します。

【校長式辞】

…略…

皆さんに、これからの学校生活を豊かにするために、特に心に留めておいてほしいことを二つ、お話しします。

一つ目は、「可能性は無限大。思いきって挑戦しよう」ということ。

皆さん一人ひとりには、限りない可能性が秘められています。学校は、その可能性を見つけ、広げていく場所です。得意なことはもちろん、苦手だと思っていたことや、初めてのことに、ぜひ挑戦してみてください。すぐにはうまくいかないこともあるでしょう。でも、その経験がきっと、あとで「やってよかった」と思えるようになります。

時には、テストで思うような点が取れなかったり、部活動で負けたり、うまくいかないこともあるでしょう。そんな時に、「もうダメだ」とあきらめるのではなく、「次はどうしよう？」と前を向いて考えてみてください。失敗を恐れず、しなやかに立ち直る力——それこそが、皆さんの未来を切りひらく大切な力になります。

だからこそ、私たちは、誰かの可能性を否定したり、奪ったりすることは決して許しません。もしも、自分や友だちが辛い思いをしていたら、どうか遠慮せずに先生たちに相談してください。必ず力になります。自分の可能性も、友だちの可能性も、大切にできる学校を、一緒につくっていきましょう。

二つ目は、「人との関わりを大切にする」ということ。

これから皆さんは、友だちや先生、地域の人たちなど、たくさんの人と出会います。そうした出会いの一つひとつが、皆さんの世界を広げ可能性を育ててくれます。この、人との関わりの第一歩となるのが、なんといっても挨拶です。

本校では、「気の利いた挨拶」を大切にしています。ただ挨拶を交わすだけでなく、相手を思いやる気持ちが伝わるような挨拶です。多くの心理学の研究でも、挨拶一つで最初の印象が左右され、そこから信頼関係が生まれ、学びや仕事の成果にも良い影響を与えることがわかっています。いずれ皆さんには、「気の利いた挨拶とは何か？」という問いに、自分なりの答えを書いて提出してもらいます。今から考えておいてくださいね。

もう一つ、人との関わりで大切にしてほしいことがあります。「相手の良いところに目を向ける」ことです。誰にでも長所と短所があります。短所ばかりを見るのではなく、その人の良さを見つけようとする心構えが、人との信頼を深め、学びを豊かにしてくれます。他者の良さに学べる人は、必ず大きく成長できます。

附属中学校では、「気の利いた挨拶」と「互いの良さを認め合う姿勢」を大切にしながら、先生も生徒も共に歩んでいます。たった一言の挨拶が、学校生活やこれからの人生を大きく変えるきっかけになると信じています。

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」

これは、私の好きな俳人・高浜虚子の句です。春の風の中、高い志を胸に、希望にあふれたまなざしで丘に立つ姿が思い浮かびます。まさに今、この式場にいる皆さんの姿そのものです。皆さん一人ひとりが、自分の目指す未来に向かって、力強く成長していくことを、心から願っています。私たち教職員一同、皆さんの学校生活が豊かなものとなるよう、全力で支えていきます。…略…



【生徒代表歓迎の言葉 生徒代表 松岡亮佑】

…略…

今日は、私から皆さんに、中学校生活で大切にしてほしいこと、そして「綱領」について、二つお話しいたします。

さて、皆さんは今日から附属中学校の一年生として、新たな一步を踏み出しました。今、どのような気持ちを胸に抱いているでしょうか？不安や期待、楽しみなど様々な思いを抱えていることと思います。私は入学したばかりの頃は、とても不安でした。しかし、その不安を感じながらも、学校生活が次第に楽しくなっていくことを今でも鮮明に覚えています。

皆さんにぜひ大切にしてほしいこと、それは「チャレンジすること」です。ほんの一步踏み出すこと、たったそれだけのことですが、これが一番難しいのです。私も最初は、なかなか自分から踏み出せず、誰かについていくことが多かったです。しかし、私が勇気を出して生徒会選挙に立候補したとき、そこから得た経験や仲間との絆は、私にとって一生の宝物となっています。新入生の皆さんも、失敗を恐れず、何事にもチャレンジしてください。

もちろん、「チャレンジすること」には、ただ進み続けることだけではなく、自分のペースを守りつつ挑戦する大切さもあります。少しずつ自分の力を伸ばしていくことが、最終的に大きな成長に繋がるのです。焦らず、一步一步進んでいってください。

次に、二つ目の「綱領」についてお話しします。「綱領」とは、この学校が大切にしている考え方、言わば学校の核となるものです。一度、綱領を読み上げてみましょう。

「綱領 真実を求めて 響き合えたくましい体で 響き合え厳しい知性で 響き合え豊かな心で」

この言葉の意味を、私なりに解釈すると、「仲間と共に切磋琢磨し、お互いを高め合う」ことを、「逞しい体」「厳しい知性」「豊かな心」の三つで実現していくことだと思います。お互いを理解し、支え合い、時には意見をぶつけ合

い、高め合っていくことが「響き合い」の本質です。それができる仲間と共に過ごすことが、この学校の大きな魅力だと思っています。

そして、この響合う姿が実際に表れる一例として、「附中三大行事」をご紹介します。これは「体育大会」「附中文化の日」「駅伝大会」の三つから成り立っています。私自身の体験を元に、いくつか簡単にご紹介いたします。

体育大会では、右も左もわからない状態の中で、先輩方が手を取り、全力でサポートしてくださいました。また、クラスの絆が一気に深まり、それ以降の学校生活がさらに充実していきました。

附中文化の日では、夏休み明けから約二ヶ月間、クラス全員で必死に練習し、熊本県立劇場のホールに歌声を響かせました。練習は決して順調にはいかず、たくさんの困難がありましたが、その全てを乗り越えたとき、最高の合唱になると思います。これらの行事を通じて、仲間との協力がどれほど大切か、そして「響き合う」ことの重要性を深く感じました。

新入生の皆さん、これから皆さんが経験する楽しいことは、まだまだたくさんあります。部活動で新たな仲間と切磋琢磨し、授業で自分の興味や得意分野を深め、行事を通して仲間との絆を深める。皆さんが中学校生活をどう楽しむかは、皆さん自身の手の内にあります。

自分を信じ、仲間と共に前を向いて歩んでください。新入生の皆さん後方を向いてみてください。もし、大きな壁に当たった時はものすごく頼りになる先輩たちが支えます。また、保護者の方々もきっとみなさんを側で誰よりも応援してくださいと思います。信じて挑戦し続けることが、皆さんを輝かせる力になります。

最後になりますが、皆さんがこの学校で経験する全てのことが、素晴らしい時間となり、充実したものになることを祈願し、歓迎の言葉といたします。